



2026年8月3日

各 位

会 社 名 日本軽金属ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 朝来野 修一
(コード番号 5703 東証プライム)
問 合 せ 先 経営管理統括室 広報・IR担当 石川 千津
(電 話 03-6810-7160)

2027年3月期第2四半期(中間期)および通期連結業績予想の修正 ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日に公表いたしました2027年3月期(2026年4月1日～2027年3月31日)の第2四半期(中間期)連結業績予想および通期連結業績予想、ならびに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2027年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想 (2026年4月1日～2026年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	330,000	13,000	12,000	8,000	129.65
今回修正予想(B)	350,000	17,000	16,000	10,000	162.34
増減額(B-A)	+20,000	+4,000	+4,000	+2,000	—
増減率(%)	+6.1	+30.8	+33.3	+25.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2026年3月期第2四半期)	278,673	11,649	9,741	5,471	88.91

(2) 2027年3月期通期連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	690,000	27,000	25,000	16,500	268.02
今回修正予想(B)	690,000	33,000	31,000	17,000	275.98
増減額(B-A)	0	+6,000	+6,000	+500	—
増減率(%)	0	+22.2	+24.0	+3.0	—
(ご参考)前期通期実績 (2026年3月期)	585,473	25,626	23,646	15,590	253.24

(3) 連結業績予想修正の理由

第2四半期は第1四半期に引き続き、アルミナ、化成品・地金の二次合金の需要環境が良好で、板、押出製品の半導体製造装置向け厚板が需要回復により販売が増加しリチウムイオン電池向け板材も好調を維持、箔、粉末製品の放熱用途は好調の継続を見込んでおります。第1四半期の業績を大きく押し上げたアルミニウム地金価格上昇による差益の発現は収束するものの、第2四半期（中間期）連結業績予想の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は前回（2026年5月15日）発表予想を上回る見込みとなりました。

通期連結業績予想につきましては、中東情勢等による不安定・不透明要素が内在しているものの、第2四半期（中間期）までの基調の継続を見込んでいることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回（2026年5月15日）発表予想を上回る見込みとなりました。

2. 配当予想の修正

(1) 第2四半期配当予想および期末配当予想

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想(A)	—	40.00	—	60.00	100.00
今回発表予想(B)	—	50.00	—	60.00	110.00
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	—	25.00	—	55.00	80.00

(2) 配当予想修正の理由

今回の第2四半期（中間期）連結業績予想および通期連結業績予想の修正や今後の事業環境見通しなどを総合的に勘案した結果、第2四半期末の中間配当予想を前回（2026年5月15日）発表予想の40円から1株当たり50円に修正いたします。これにより、年間配当予想を前回（2026年5月15日）発表予想の100円から1株当たり110円に修正させていただきます。

(注) 本資料に記載の予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき算出したものであり、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上